

マリレジャー安全レポート

第42号(平成21年1月)

第七管区海上保安本部
マリレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan7-m8ev@kaiho.mlit.go.jp



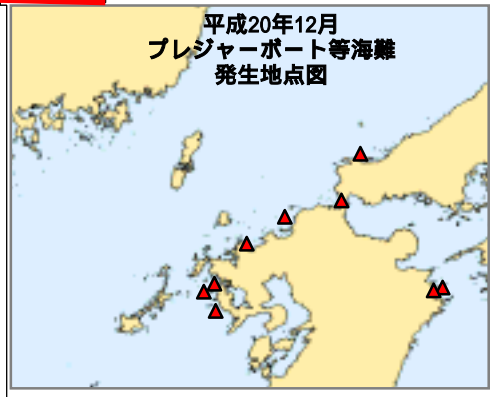
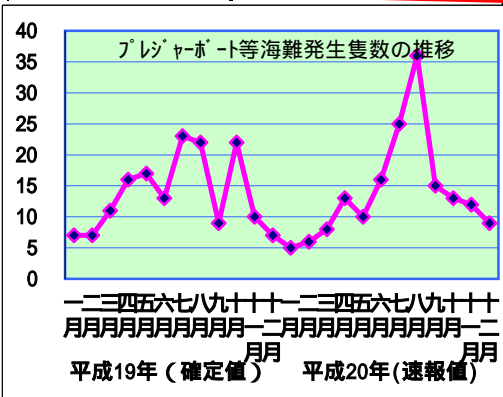
気象・海象の変化に注意をしましょう!

Aさん(事故者、29歳)は一人で、12月30日午前4時30分頃から長崎市四郎ヶ島付近の孤立瀬に徒歩で渡って磯釣りをしていました。この場所は釣り雑誌で調べたことがあるだけで海岸の状況等については把握せず。次の干潮時刻にあわせて午後3時頃には孤立瀬から海岸に戻る予定でしたが、次第に北西の風やうねりの影響で孤立瀬が潮を被るようになりました。午前8時頃になって、Aさんは不安を感じ海岸に戻ろうとしましたが、満潮時間の午前10時には潮が満ちて無理に海岸に戻ろうとすれば海中に転落してしまう恐れがあることから消防署に通報し救助を求めました。その後、消防からの通報を受けた海上保安庁の巡視船搭載艇によってAさんは救助されています。

平成20年12月 プレジャーボート等 海難発生隻数	
合計	9隻
衝突	1
乗揚	2
転覆	0
浸水	0
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	4
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航障害	2
安全障害	0
その他	0



～事故からの教訓～
磯場で釣りをする時は、予めその場所の状況を把握しておきましょう。遭難事故のあった場所は、特に危険です。波の立ち具合をよく観察し、大きな波の起こる磯場には近寄らないようにしましょう。突風に対する注意と天気の変化に対する注意も必要です。このように天気、低気圧の位置・風の強さ・波の高さ・潮位に対して常に注意を払い危険を感じたら早めに退避するようにしましょう。また、救命胴衣の着用・携帯電話を忘れずに事故が発生したらすぐに118番に通報してください。



バッテリーあがりに注意を!!



バッテリーは化学反応によって充電したり放電しています。気温が低下する冬になると、化学反応も鈍り、いざエンジンを起動しようとしたときに、セルが回らず救助を求めるといふ海難が発生しています。特に古いバッテリーや弱ったバッテリーは、本体の能力低下も加わることから、バッテリーあがりの危険性が高くなります。出航前にはバッテリーの点検を行い、異常がないことを確認しましょう。

1 電解液量の確認
・ローレベル以下の場合は、補水する。
・補水は蒸留水(精製水)を使用する。

2 電解液比重の確認
・比重が1.24以下は要充電。
(上記比重は20時の数値なので、冬は若干低くなります)
・各セル間の比重に差がないことを確認する。

3 電圧の確認
・エンジン起動後、充電電圧を確認する。
(メーカー等により差はありますが、凡そ14V前後で、24V船舶の場合は倍になります。)

注意
ここに示した数値については一般的な目安で、メーカーにより多少差があります。詳しくはそれぞれの取扱説明書に従ってください。









海図の記号

海図や地図(陸図)に登場するたくさんの記号を集めてみました。海図だけに使われている記号もあれば、陸の地図とほぼ同じ記号もあります。さらに似ているけど全く違ったものを表す記号もあります。今回は、海図の記号、「海図図式」をクイズ形式で紹介します。

問1 顕著な目標物(左は海図、右は地図の記号)

1.  地図では  2.   3.   4.  
(旧 



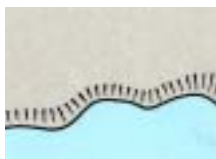

問2 名所にもなっています

1.  地図では  2.   3.   4.  

問3 似ている海図記号


1.   2.   3.   #  

問4 海岸線です。違いは？

1.  2.  3.  4. 

ヒントと解説

問1 顕著な目標物としては、煙突(Chy)や塔(Tr)のほか、最近では風車などが良い目標物となっています。平成20年10月以降の海図では変更された記号が使われています。

問2 灯台や城跡などは観光名所にもなっています。教会の記号もありますが、塔状のものは塔記号で表現されるものもあります。神社の記号に似たもので郵便局があります。 

海図の国際性から日本独自の記号「〒」では無く、封筒のマークです。

問3 移動クレーンにはレールなどを表す線が描かれています。

水面下に隠れる岩(暗岩や洗岩)、魚礁等のうち航行が危険な海域は点線で囲まれます。また、航行には安全であるが、投錨や底引は避けるべき険悪地の記号もあります。判別しにくいドルフィンには略語Dnが付いています。

問4 平坦な海岸は線のみで描かれます。砂や石、急斜面や崖は区別して描かれます。

答: 問1 1. 煙突 2. 無線塔 3. 塔 4. 風車

問2 1. 灯台 2. 神社 3. 城跡 4. 教会

問3 1. 固定と移動クレーン 2. 洗岩と暗岩 3. 魚礁と漁港 4. 険悪地とドルフィン

問4 1. 砂浜 2. 石浜 3. 急斜海岸 4. がけ海岸

